

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		2026年 2月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性を活かし、お子さんの特性に合わせた療育を行っていること	定期的に事業所内で検討会を行う時間を確保し、療育の内容の共有と質の向上に努めている。	職員の専門性を高めるために必要な研修等の取り組みの充実を図ることが必要である。
2	難聴に特化した療育プログラムを有し、法人内の耳鼻咽喉科クリニックとも連携をしていること	通所児の医療情報を必ず確認し、難聴を専門とする医師を含め、連携機関とのカンファレンスを行っている。	聞こえや補聴状態をより細やかに把握し療育に反映させる。
3	外部の各医療機関、教育機関と連携して、こどもと家族を中心としたチームとしての支援を行っている	児がほかに通っている医療機関、教育機関と定期的カンファレンスを行い、課題と方向性を共有し児の個別支援につなげている。また、スムーズな連携と信頼関係構築のためにも顔の見える連携を行っている。□	教育機関とのカンファレンスを増やし、個別支援計画に反映させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望する曜日・時間帯に予約が取れないという指摘が多い。	特定の曜日、時間帯に希望が集中しており、公平にご利用いただくための調整に苦慮している。	空きが出た場合の振替のご案内を充実させる。
2	非常時の対応について全ての利用者への周知が不十分であること。	個別療育を基本としているため、非常時の訓練は全ての利用者を対象とすることが難しい。	非常時の対応について全ての利用者に向けた定期的な情報発信の仕方を工夫する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 62

回収数 48

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	45	2	1	0	・個室であり十分だと思う。 ・防音が弱くなったと思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	1	1	4	・STと保育士がいてくれてバランスが良いと思う。 ・保育士さんがお休みでない時がたまにある。 ・なかなか予約がとれない。	多職種が連携しながら支援を行っております。支援の質が保たれるよう職員間で十分に連携し、安定、継続した支援を行えるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	8	0	0	・個室になったため余計な刺激がなくて集中して活動に参加できてるように思える。	集中できる環境を大切にし、より充実した支援を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	2	0	0	・いつも綺麗だと思う。	日々清掃しております。今後も気持ちよく過ごしていただけるよう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	6	0	1	・先生が変わると、向き合い方、許容範囲が微妙に変わるの仕方ないと思っている。 ・担当の方にはもう少し子どもの発言に耳を傾けていただけるとコミュニケーションの幅が広がっていくと思う。	支援の方向性や関わり方について、職員間での共有をより一層徹底し、一貫性のある対応ができるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	2	0	9		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	5	0	2		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	6	0	4		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	4	0	1	・都度、子どもの様子を見て活動を考えていただいています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	7	0	4	・季節のイベントなどを取り入れていたり製作活動があったりして良い よく考えたプログラムを組んでいただいていると思う。ただ、子どもが飽きた時に勉強の問題数を変更したり、勉強の途中で感じたことの発言を取り入れながら目指す支援に向けてもう少し柔軟に対応いただけると思う時がある。(強制感がある時があるので、子供にとって辛い時間にならないような柔軟性があると思う時がある)	お子さまの様子や気持ちをより丁寧に汲み取りながら、柔軟な支援を心がけてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	5	13	8		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	2	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	9	2	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	7	3	9	・保護者交流の場は夏以外にも複数回あるとありがたい。	年間通して交流の機会を設けられるよう、検討を進めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	40	5	1	2	・こちらで気づけていない微細な変化もキャッチして言語化して教えてくださるので、大変ありがたい。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	7	3	5		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	4	0	3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	8	7	17	・きょうだい向けのイベントはまだ認識していない。障害による療育支援の為、優先すべきことはあると思うが、もう少しきょうだいへの配慮があるとより安心して通えると感じる。	現在、きょうだい向けのイベントの機会は設けておりません。ご期待に沿えるよう、検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	7	2	10		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43	4	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	6	3	15		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	0	0	5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	7	4	24	・いつも限られた時間で避難方法まで伺う時間はなく、気にはなっている。	掲示等を活用し、限られた時間の中でもお伝えできるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	6	4	30	・階段の場所を知らない。	緊急時に備え、避難経路や対応について共有できるよう体制を整えてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3	1	20		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	5	2	22	・実際に経験していないのでわからないが、連絡や説明がされる環境であると感じている。	事故等に対応することができるよう定期的に研修を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	3	0	2	・うさぎクラブに行く日を指折り数えて楽しみにしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	37	6	1	4		
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	6	0	3	・いつも楽しく通所している。	今後も安心して過ごしていただけるよう、職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ		公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		11	1			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	3	・視覚的な掲示をしている。	・掲示物が多い。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		11	1	・毎日清掃を行っている。	・毎日子どもが来所するので、清掃が行き届かない場所もある。 ・部屋が乾燥している。 ・インターバルがないので換気ができない。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		12	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2		・全体像がわからない。 ・マイルストーンなどが無い。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・要望を反映し、改善しようとする姿勢がある。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・毎週ミーティングの機会がある。	・ツールはあるが、言いづらい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	・職員それぞれの強みを学ぶ機会がある。	・年齢別に合わせた研修があると良い。 ・外部の場合、費用は実費 ・外部研修は休日に開催されるので、体力的に負担。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	4		・発達段階のチェックシートがあるといい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	・多職種で連携して、個々に合わせたプログラムの立案を行っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・内容を振り返り、次回に向けた取り組みを相談しあえている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	・集団・個別とも打ち合わせを行い、準備をしている。	・シフトの関係で、打ち合わせができない、時間が足りないこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	・療育の時間と重なり難しいこともある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	・保護者を通じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2	・許可が得られた場合には、電話、メール、対面で定期的に連携をとっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	10		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	5		・保護者からのニーズは高いが、頻回には行えていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	10		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	4		・食事を提供する機会はないが、イベント等で行う場合には、事前に確認をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	4		